

ペタンク通信

北海道ペタンク協会
No.75 2012年5月
発行責任者 上杉晃央

◇◇◇2012年道協会総会開催◇◇◇

4月21日札幌市アサヒビール園白石・ピルゼンにおいて理事会及び総会が開催され、前年度事業報告、決算の承認、新年度事業計画、予算等が提案のうえ原案通り決定されました。役員改選では中道会長以下全役員が再任され、ブロック連絡協議会を設置し指導審判部会による指導体制を整備しました。主な審議内容は次の通りです。

総会終了後、知事杯の交流夕食会が開催され、ビンゴゲームやペタンク談義が大いに盛り上がった。

◎役員体制(任期:2014年12月31日まで)

| | | | | | |
|-----|-------|-----|------|-------|----|
| 顧問 | 橋本 聖子 | | 理事 | 柿崎 英男 | 札幌 |
| 相談役 | 小野 茂 | 札幌 | | 松山 健治 | 安平 |
| | 滝口 洋祐 | 北見 | | 大塚 功 | 士別 |
| 会長 | 中道 絃一 | むかわ | | 横島 年治 | 北見 |
| 副会長 | 平原 健三 | 札幌 | 事務局長 | 磯野 憲二 | 美幌 |
| | 納 謹也 | 池田 | 会計 | 以頭 隆志 | 美幌 |
| 理事長 | 上杉 晃央 | 美幌 | | | |
| 監事 | 本多 堅勇 | 森 | | | |
| | 山内 真六 | 池田 | | | |

NPO 日本協会理事 上杉 晃央(ブロック選出)

NPO 日本協会正会員 中道 絃一

◎審議結果

- ① 指導員・審判員の養成と認定、ペタンクの普及・愛好者組織の育成などを目的とした北海道ブロック連絡協議会設置要綱を制定。
*代表 中道絃一 *副代表 上杉晃央 *事務局長 磯野憲二
*指導審判部会長 牧原 統 *副部会長 柿崎英男 *委員 滝口洋祐・石川英毅
- ② 表彰規程の特別賞(個人・団体)の基準を優秀賞(個人)にあわせるため「全国規模大会3年連続の優勝者」を「3年連続の3位以内」に改正。
- ③ 全道全国スポーツ等運営委員会委員は松山健治を選任。
- ④ 指導員・審判員資格検定講習会は、各協会の希望を調整しながら中道絃一・牧原統氏が担当し部会委員協力で、当面2ヵ年で各協会の暫定資格者を主に講習を行い、技術向上や審判員レベルアップに取り組むこととした。これまでの資格者の普及指導の貢献度を加味しないで受講時間を一律に取り扱うことに対して納得がいけないとの意見が出された。

◇◇◇第22回北海道知事杯ペタンク大会◇◇◇

今冬は道内一部で記録的な大雪に被害も。季節はめぐり若葉の萌える春半年ぶりにペタンクシーズンが開幕。全道各地から49チームが出場。転がるテラン、ダイレクトでなければ弾むティールに苦戦しつつもチームワークを発揮午後7時近くまで熱戦を繰り広げた。開会式の席上、昨年度日本選手権大会で第3位と活躍したむかわ協会：中道玲子・長内

幸子・前田美佳の3選手に優秀賞が授与された。

ベスト8に池田4、札幌、美幌、北見、むかわ札幌の強豪チームが勝ち進む。美幌加藤は決勝戦の初戦美幌高橋との対戦で3対7から持ち前の粘りで逆転。その後実力を発揮した試合運びで2回北見ミントCに4点、3回戦十勝ワインズEに2点、準決勝十勝ワインズDに3点と失点少なく順調に勝ち進む。

決勝は北見ミントDと対戦し、1メヌの相手のミスから得点を得て流れをつかみ、完封試合で見事優勝杯を手にした。美幌協会は3年ぶりの優勝。

◎日 時 4月22日 ◎場 所 札幌市農試公園屋内広場 (ツインキャップ)

◎出 場 札幌15 (7)・池田12 (5)・安平5 (3)・北見4 (4)・美幌4 (2)

むかわ2 (2)・士別2 (1)・白老1 (1)・安平池田・北見札幌1

むかわ札幌1 (1)・池田札幌1 計 49 ※ () 内は決勝進出チーム数

◎成 績 優 勝 美幌・加藤 加藤 忠且・松木 弘子・松木 光茂

準優勝 北見ミントD 滝口 洋祐・横畠 年治・廣木 良子

第3位 十勝ワインズG 横田 則男・香田 昇・角谷 順子

第4位 十勝ワインズD 村瀬 賢治・小野田義則・村瀬美智子

◎講 評 今大会はベスト8に池田協会が4チームとベテラン選手の活躍が目立った。北見協会も予選4チームがすべて決勝進出と立派な活躍である。決勝はオホーツク勢の対戦となり、美幌・北見協会ともに幸先の良いシーズンのスタートになった。

□□□ 日本協会2011ランキング □□□

最終結果が本部ホームページに掲載されましたので、道協会各部門上位の選手を紹介 (一番上は各部門全国1位選手)

★男 子

湯木正治(広島県)2試合412点

98位 中道紘一7試合80点

147位 佐藤英二6試合59点

150位 滝口洋祐7試合58点

★女 子

八代文子(岡山県)31試合293点

48位 中道玲子6試合82点

68位 宮内 幸6試合65点

89位 長内幸子4試合59点

★総 合

湯木正治

72位 中道玲子

98位 中道紘一

112位 宮内 幸

参考に全国各部門1位の選手の1試合平均点数は、湯木(29試合・14.21点)、八代(31試合・9.45点)。20試合以上の出場選手の平均点数の上位は、男子1位は湯木選手、2位祐村眞介選手(24試合13.32点)、女子1位は八代選手、2位は木下あけみ選手(29試合8.86点)である。

北海道上位選手の平均点数は、中道紘一11.43点、佐藤英二9.83点、滝口洋祐8.29点、中道玲子13.67点、長内幸子14.75点、宮内幸10.83点で、試合数が少ない分平均点が高くなっている。試合数が多く、平均点が高い全国上位選手の实力はかなり高いといえる。

本州、四国は比較的各種大会に参加しやすい環境にあるが、航空便以外に参加ができない道協会会員からランキング制度のあり方に見直しの意見が寄せられているので紹介したい。皆さんの声も聞かせてください。

① ランキングポイント大会は、日本協会主催大会(日本選手権・ジャパンオープン・東日本・西日本)及び9ブロック毎に指定する一つの大会(各ブロック連絡協議会で各県協会持ち回りの開催も可)とし、順位を決める。毎年各ブロックに出かけて交流が促進される効果も期待される。

② ①以外の大会に参加する選手の得点は、ラリーポイント大会として①とは別に順位を決めてはどうか。

③ 成績に関係なく大会参加数の特典制度があってもいいのではないか。